

# 平成25年度 第1回奈良県渋滞対策協議会

日時：平成25年 6月19日（水）10：30～12：00

場所：奈良県庁 本庁舎2F No21会議室

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

### 3. 委員紹介

### 3. 議題

(1) これまでの検討経緯

資料1

(2) 奈良県における渋滞対策の基本方針について（案）

資料2

奈良県全体における渋滞対策の基本方針について（案）

奈良中心市街地における渋滞対策の基本方針について（案）

橿原市域における渋滞対策の基本方針について（案）

(3) 今後の渋滞対策の検討（案）

資料3

(4) 今後のスケジュール（案）

資料4

(5) その他

### 4. 閉会

# 平成25年度 第1回 奈良県渋滞対策協議会

## 『これまでの検討経緯』

平成25年6月19日(水)

# 1.これまでの検討経緯

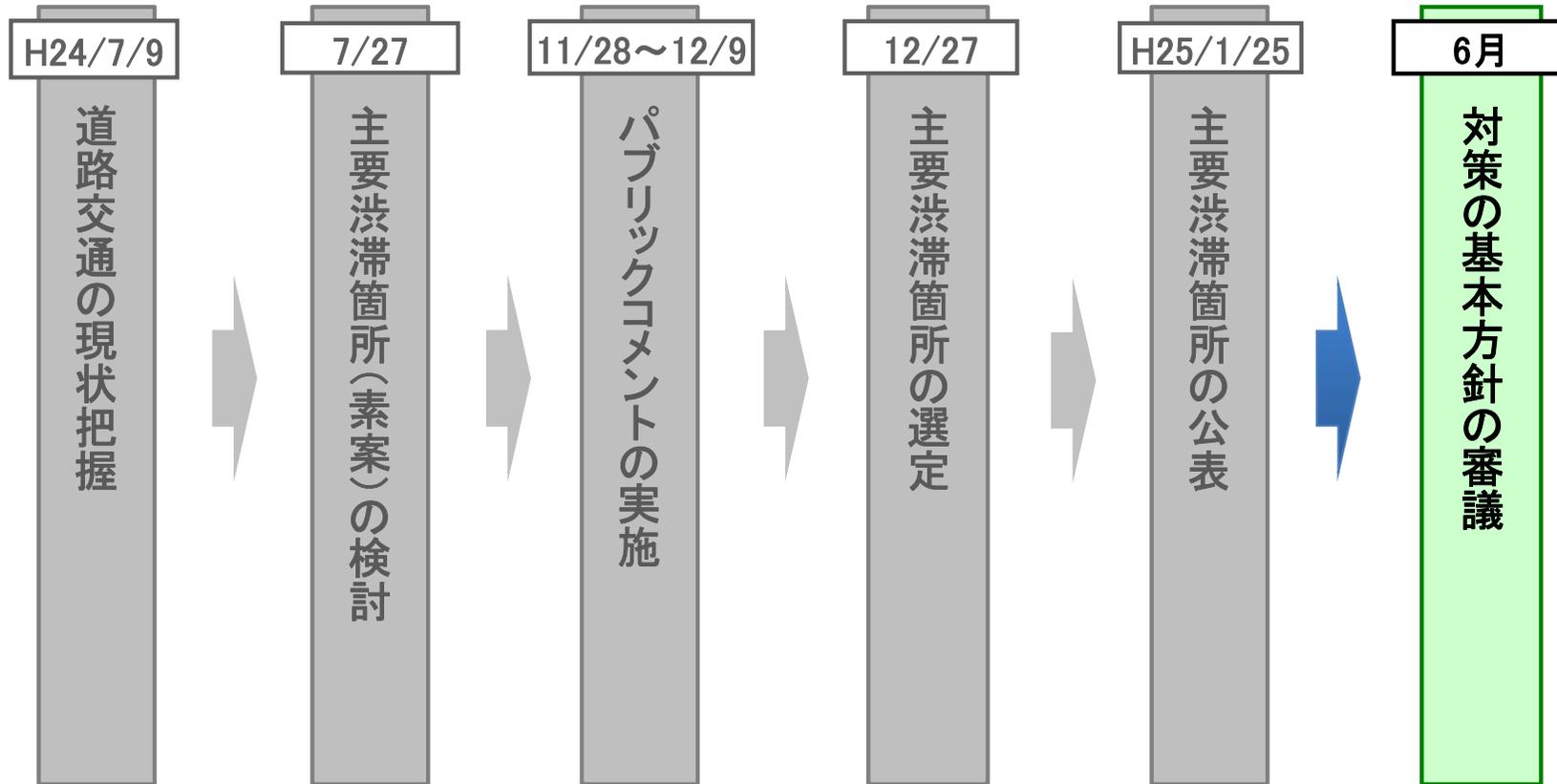
## 渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること



課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

## 渋滞対策の検討経緯



平成25年度 第1回  
奈良県渋滞対策協議会

『奈良県における渋滞対策の基本方針(案)』

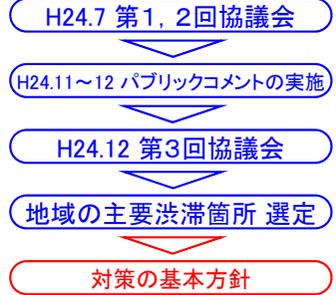
平成25年6月19日(水)

# 奈良県全体における渋滞対策の基本方針について(案)

## 検討経緯

奈良県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「奈良県渋滞対策協議会」での検討を踏まえ、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「地域の主要渋滞箇所 63区間(147箇所)」として選定し、平成25年1月25日に公表しました。

※「奈良県渋滞対策協議会」の構成員  
 国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、奈良県警察本部、奈良県、西日本高速道路株式会社、奈良県道路利用者会議、一般財団法人奈良県ビジターズビューロー、奈良経済同友会



## 1. 奈良県の概況

	概要
県域特性及び道路交通状況	<p>&lt; 県域特性 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県は、総人口約140万人で、主に大阪方面へのアクセスが良好な県北西部の大和平野に人口が集中。また、3つの世界遺産等の他に比類ない観光資源を有し、年間約3,500万人の観光客が来訪。一方、県内の道路整備率は約40%で全国ワースト2位となっている。</li> </ul> <p>&lt; 道路交通状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大和平野に渋滞箇所の約9割が集中。大和平野以外の渋滞箇所には、吉野や宇陀など一定の交通の集積が見られる地域に分布。</li> <li>このうち、本県の2大都市である奈良市と橿原市を中心とする地域については、面的に渋滞箇所が分布。</li> <li>その他の渋滞箇所は、現在整備中の幹線道路若しくはこれらと並行する路線に多数分布。</li> <li>渋滞状況は通常時と観光シーズンに大きな差が見られることも本県の特徴。</li> </ul>

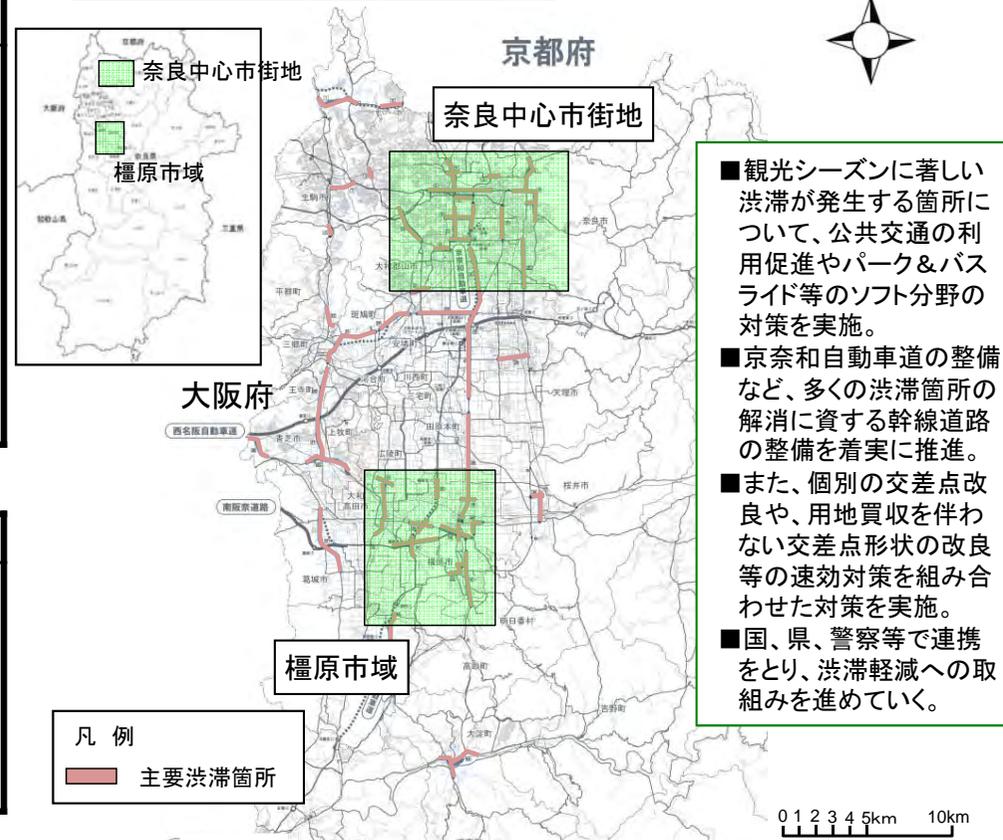
## 2. 渋滞対策の方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域特性を踏まえつつ、渋滞の原因となる交通の特性に応じた対策を実施する。</li> <li>○例えば、                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的な渋滞や観光シーズンに偏った渋滞など、渋滞特性に応じて、ハード面、ソフト面を組み合わせた対策を行う。</li> <li>・通過交通と目的交通の混在による渋滞を解消するため、地域の道路ネットワーク全体で、方面別の交通の整序を図る。</li> <li>・局所的な渋滞に対しては、必要に応じ道路改良や速効対策を行う。</li> </ul> </li> </ul>

## 基本方針

- 観光シーズンに著しい渋滞が発生する箇所について、公共交通の利用促進やパーク&バスライド等のソフト分野の対策を実施。
- 京奈和自動車道の整備など、多くの渋滞箇所の解消に資する幹線道路の整備を着実に推進。
- また、個別の交差点改良や、用地買収を伴わない交差点形状の改良等の速効対策を組み合わせた対策を実施。
- 国、県、警察等で連携をとり、渋滞軽減への取組みを進めていく。渋滞対策協議会等において、対策検討や対策効果を検証し、主要渋滞箇所や対策の基本方針の見直しを行う。

## 3. 奈良県全体における基本方針



- 観光シーズンに著しい渋滞が発生する箇所について、公共交通の利用促進やパーク&バスライド等のソフト分野の対策を実施。
- 京奈和自動車道の整備など、多くの渋滞箇所の解消に資する幹線道路の整備を着実に推進。
- また、個別の交差点改良や、用地買収を伴わない交差点形状の改良等の速効対策を組み合わせた対策を実施。
- 国、県、警察等で連携をとり、渋滞軽減への取組みを進めていく。



# 地域別(橿原市域)における渋滞対策の基本方針について(案)

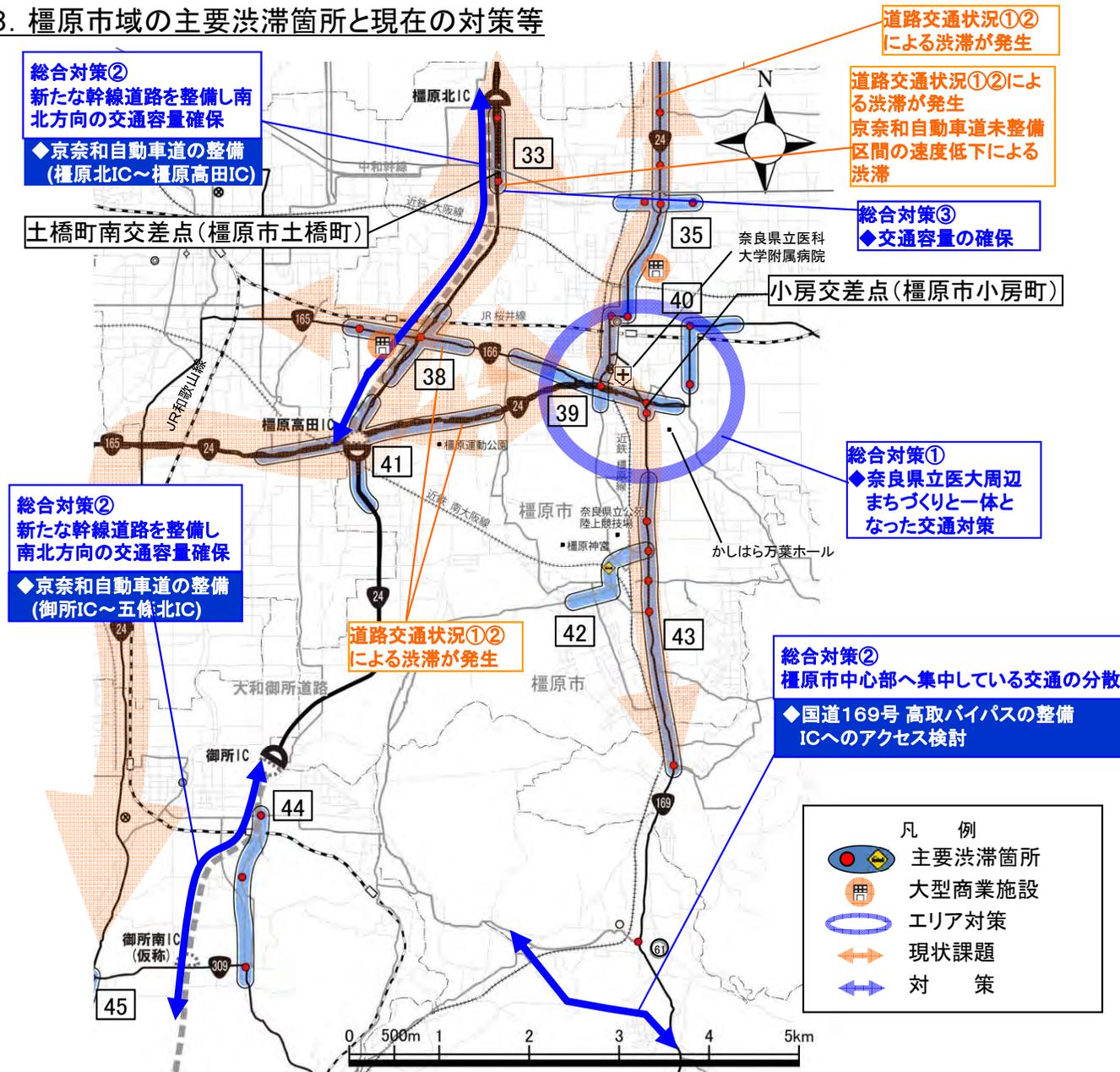
## 1. 橿原市域の概況

概要	
地域特性及び道路交通状況	<p>〈地域特性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橿原市を中心とする地域は、大和平野南部の商業業務機能の集積地。</li> <li>・奈良県立医科大学附属病院やかしはら万葉ホールなど公共公益施設も集積。</li> </ul>
	<p>〈道路交通状況〉</p> <p>①近鉄やJRの鉄道網が発達するとともに、京奈和自動車道、国道24号、165号等の幹線道路網も集中する交通の要衝であり、橿原市域を貫く幹線道路上に渋滞箇所が多く分布。</p> <p>②また、当該地域は、県北部や大阪方面から明日香方面や吉野方面へのアクセス拠点</p>

## 2. 渋滞対策の方向性

概要	
総合対策等	<p>○地域特性を踏まえつつ、渋滞の原因となる交通特性に応じた対策を実施する。例えば、</p>
	<p>①まちづくりプロジェクトや、都市計画道路の見直しなど、関連する取り組みと一体となった渋滞対策の検討を行う。</p>
	<p>②整備中の道路整備を着実に推進し、交通容量の拡大を図りつつ、南部方面への通過交通の整序を図る。</p> <p>③局所的な渋滞に対しては、必要に応じ道路改良や速効対策を行う。</p>

## 3. 橿原市域の主要渋滞箇所と現在の対策等



## 基本方針

- 奈良県立医科大学周辺のまちづくりの検討と一体となって、周辺の渋滞解消についても検討を行う。
- 京奈和自動車道やそのインターチェンジアクセス道路の整備を推進し、県南部方面への交通容量の拡大を図りつつ、橿原市中心部等に集中している交通の分散を図る。また、国道169号高取バイパスなど、整備中の道路整備を着実に推進。
- 都市計画道路橿原高取線(橿原市~高取町の区間)の見直しにあたっては、周辺の渋滞解消を図るためのネットワークのあり方の観点からも検討を行う。

# 平成25年度 第1回 奈良県渋滞対策協議会

## 『今後の渋滞対策の検討（案）』

---

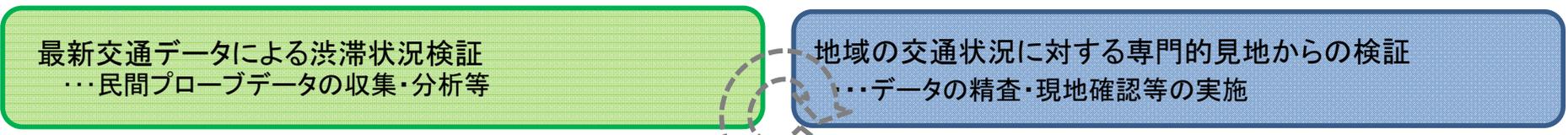
平成25年6月19日（水）

# 3. 今後の渋滞対策の検討(案)

## 3-1. 今後の奈良県渋滞対策協議会における渋滞対策検討マネジメントサイクル

- ◇ 最新の交通データ等を基に特定された主要渋滞箇所を踏まえ、渋滞対策を検討・実施
- ◇ 毎年度以下のマネジメントサイクルにより、主要渋滞箇所をモニタリングの上、随時見直し

モニタリング等による検証



渋滞対策協議会等における議論

◇協議会構成主体  
国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、奈良県警察本部、奈良県、西日本高速道路株式会社、奈良県道路利用者会議、一般財団法人奈良県ビジターズビューロー、奈良県経済同友会

地域の声の反映  
(パブリックコメントの実施等)

地域の主要渋滞箇所の選定(※)

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施(※)

・主要渋滞箇所図等により、地域の課題を共有することで道路管理者・道路利用者(地域住民、バス・タクシー事業者等)間での議論を促進

**対策の基本方針**

**「奈良県みんなで作る渋滞解消プラン」の更新**

・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現  
(道路管理者が実施する対策、他機関の実施策との連携、道路利用者の参画による対策 等)

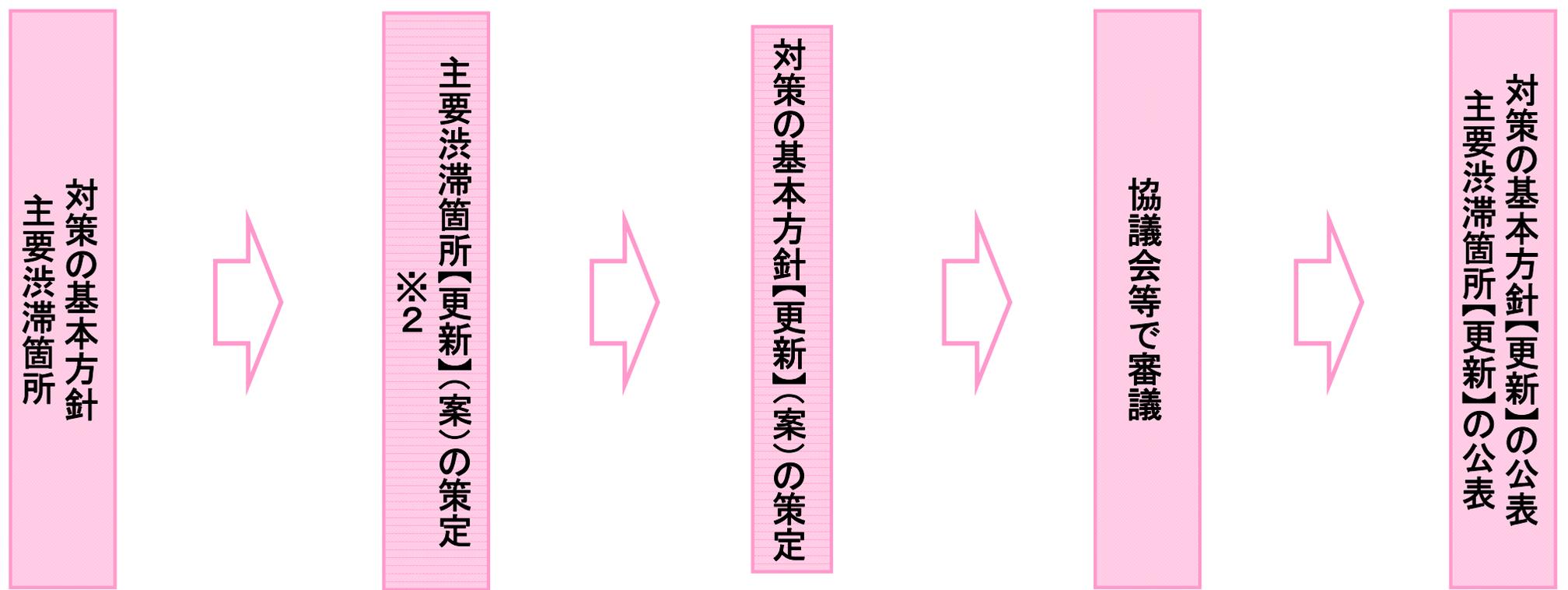
(※)「地域の主要渋滞箇所及び対策の基本方針」は、毎年度の渋滞対策協議会での議論を踏まえ、必要に応じて見直し、公表

# 3.今後の渋滞対策の検討(案)

## 3-2. 主要渋滞箇所及び対策の基本方針の更新

- ◇毎年度、主要渋滞箇所を最新のデータを活用し、渋滞状況の変化を確認
- ◇渋滞状況の変化による主要渋滞箇所の変更や対策の基本方針の修正について、協議会等の審議を経て決定

【主要渋滞箇所及び対策の基本方針の更新イメージ】



■最新のデータ※1を活用し、渋滞状況の変化の確認

■地域を追加する場合  
■主要渋滞箇所の更新に伴い対策の基本方針の更新が必要な場合

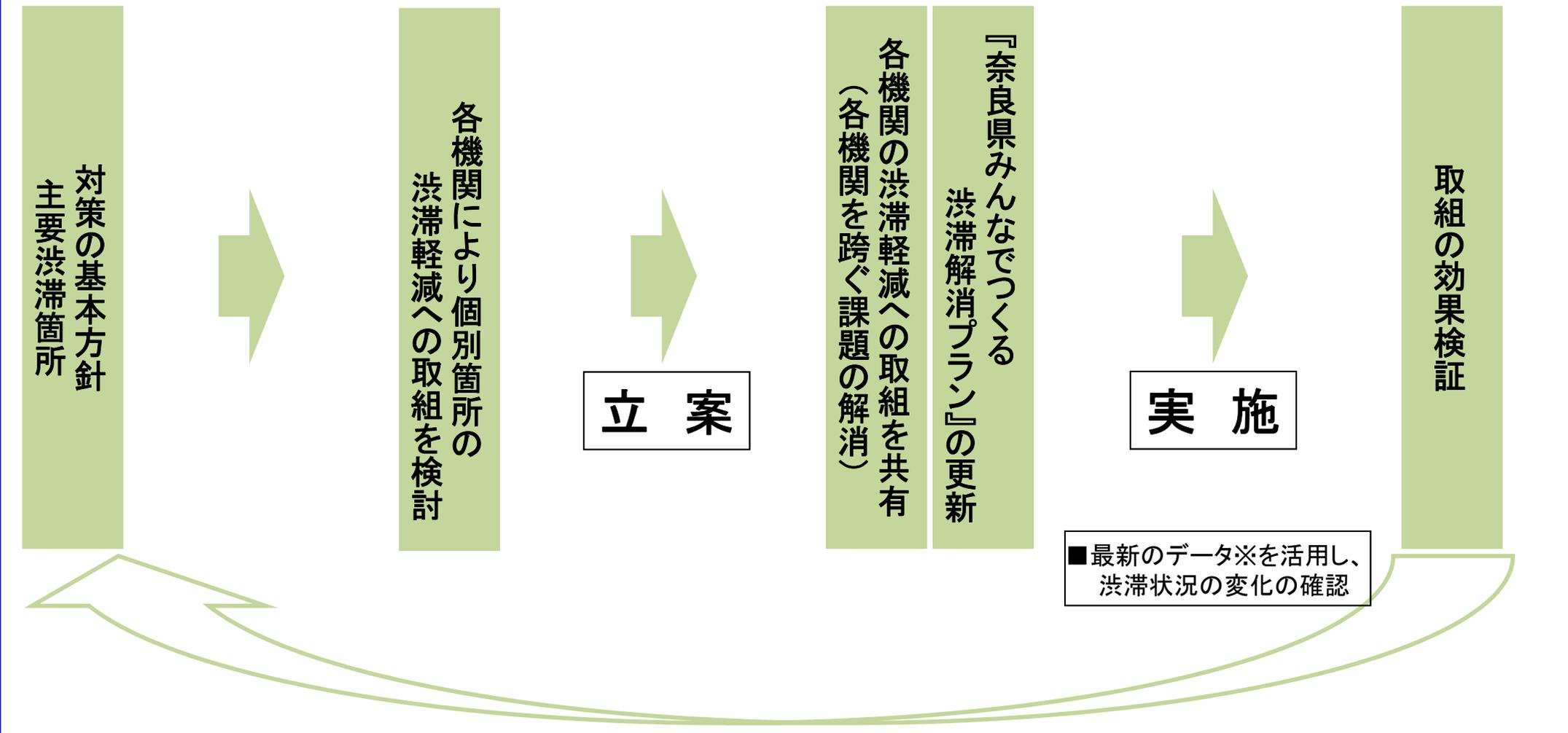
※1 毎年9～11月データ(センサスと同時期のデータ)または対策取組前後のデータ等  
※2 主要渋滞箇所の更新の検討の際には、あわせてパブコメの実施の必要性も検討

# 3.今後の渋滞対策の検討(案)

## 3-3 円滑な渋滞対策の立案・実施

- ・ソフト・ハードを含めた渋滞対策の手順、取組内容や課題を協議会等で共有  
(道路管理者が実施する対策、他機関の実施策との関係、道路利用者の参画による対策など)
- ・各機関の取組の効果を検証し、必要に応じ対策の基本方針に反映

【円滑な渋滞対策の立案・実施イメージ】



※毎年9～11月データ(センサスと同時期のデータ)または対策取組前後のデータ等

# 平成25年度 第1回 奈良県渋滞対策協議会

## 『今後のスケジュール（案）』

---

平成25年6月19日（水）

# 4.今後のスケジュール(案)

